

## 新型コロナウイルス感染症予防接種について

### ～新型コロナウイルス感染症とは～

新型コロナウイルス感染症(国際的病名はCOVID-19)は、SARS-CoV-2 に感染することによって起こります。新型コロナウイルス感染症にかかった人が、咳やくしゃみなどを行うことによりウイルスが空中に広がり、それを吸い込むことによって感染する、いわゆる飛沫感染が大半です。

症状は発熱・咽頭痛・咳・鼻水などの呼吸器症状のほか、嗅覚異常・味覚異常などが現れます。

普通の風邪が流行しても死亡する人はあまり増えませんが、新型コロナウイルス感染症が流行すると、特に65歳以上の高齢者や基礎疾患のある方の重症化・死亡リスクが高くなるので、普通の風邪とは違います。

### ～新型コロナウイルス感染症予防接種の有効性～

新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの有効性は、発病予防や重症化(入院)予防の効果があることがいわれています。

効果は100%ではありませんので、ワクチン接種を受けた場合でも、新型コロナウイルス感染症に感染・発病する場合があります。

### ～新型コロナウイルス感染症予防接種を受けることができない方～

次の方は、新型コロナウイルス感染症予防接種を受けることができません。

- ① 接種当日37.5℃以上の発熱がある方。
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方。
- ③ 予防接種の接種液の成分に対しアナフィラキシーなど重度の過敏症(※)の既往歴のある方

※アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

- ④ その他、医師の判断で予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

### ～新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける際、十分に注意をしなければならない方～

次の方は、予防接種を受ける前に、接種が可能か必ず医師に相談してください。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方。
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を発症したことがある方。

③過去にけいれんの既往のある方。

④過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。

⑤接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方。

⑥抗凝固療法を受けている方、血小板減少症又は凝固障害を有する方。

### ～新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応～

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されているほか、まれに重篤な副反応としてアナフィラキシーが報告されています。

### ～新型コロナウイルス感染症予防接種後の注意～

①予防接種を受けた後30分位は、急な副反応が起きることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。

②予防接種の副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。

接種した部位が異常に腫れたり、体調が悪くなった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

医師の診察を受けた場合は、夕張市保健福祉課保健係までご連絡ください。

③入浴は発熱等がなければ、差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことはやめましょう。

④接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動はさけましょう。

### ～予防接種健康被害救済制度～

新型コロナウイルス感染症予防接種が原因で健康被害が発生し、厚生労働省が認定した場合、市が健康被害に対する給付を行う制度があります。

給付申請の必要が生じた場合には、夕張市保健福祉課保健係までご連絡ください。

### ～予防接種済証について～

予防接種を受けた方には、予防接種済証が交付されます。予防接種済証は、予防接種の接種日や医療機関等の情報が明記された証明書です。

万一健康被害が発生した場合の医療費等の請求手続きなどに使用する重要な個人情報になりますので、大切に保管をお願いいたします。